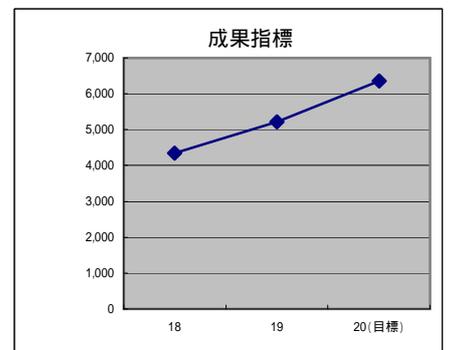
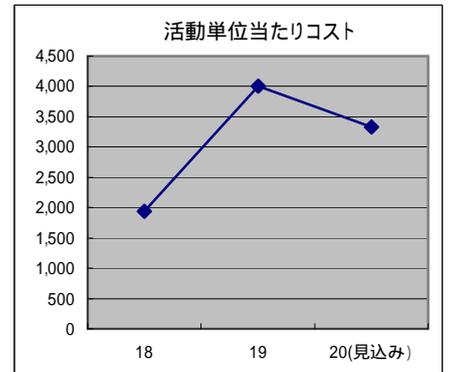


事務事業名		緊急通報業務委託事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	3	老人福祉費
					事業	1	老人福祉援護
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	作成部署	保健福祉部保険健康室高齢介護課		
	施策(節)	3	高齢者福祉	連絡先	072 958 1111 内線 1380		
	施策の方向	(1)	地域包括ケアシステムの構築	関連する計画等			
	第3期高齢者いきいき計画						
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	概ね65歳以上、ひとり暮らし・高齢者世帯・昼間独居の市内在住の在宅高齢者						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	在宅生活24時間365日のライフラインとして地域福祉の向上を図る。						
	ひとり暮らし高齢者等に対し、緊急時の疾病、災害時に迅速かつ適切に対応するため、緊急通報装置の設置をはじめとする緊急時における連絡体制及び必要な対応の実施体制を整備することにより、緊急時等における不安感の解消を図り、もってひとり暮らし高齢者等の地域福祉の向上を図ることを目的とする。						
根拠法令等		羽曳野市地域支援事業等事業実施規則、羽曳野市緊急通報システム運営事業実施要綱					
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 2 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない		終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化		以前は国庫補助による給付事業であったため、社会福祉法人にて集中管理を行い、受益者負担はなしで実施してきたが、18年度より民間へ移行し、月額500円程度の受益者負担が生じた。					
市民や議会の要望		機器を最新技術を搭載した新しい機器へ変えてもらいたい等々					
実施手法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()					
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託 名称		委託内容			
		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		緊急通報センター委託			

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		4,343	5,219	5,700
人件費【2】 (千円)		1,308	2,292	2,292
職員数	正規職員	0.12 人	0.23 人	0.23 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.05 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.10 人	0.20 人	0.20 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		5,651	7,511	7,992
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	5,651	7,511	7,992
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
通報件数	件	2,920	1,876	2,400
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		1,935 円	4,004 円	3,330 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		47 円	63 円	67 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度
			目標	実績	目標	実績	達成率(%)
事業目的の達成度を測る指標	緊急通報事業(式)	事業費	5,000	4,343	5,777	5,219	90.3%
			6,356				
	孤立死等の回避件数(式)	出動件数	111	111	114	114	100.0%
			154				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	評価			分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	独居高齢者等在宅生活の中で不安を抱いて暮らしている高齢者に対し、安全で安心して過ごす支援としてニーズを満たしているとは一概には言えないが過剰サービスとも考え難い。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	近隣市と協働して実施しているサービスでありコスト面での統一が充分に図られている事業である。また、システムについても民間力を活かせるノウハウも整っているため効率性も高い。さらに、事業は委託しているが、民間との協働色が濃く、価格(受益者負担)や緊急対応の課題等を克服できれば、インフォーマルサービスへ移行するなど、効率よく事業を進めることができる
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	今後、利用者からアンケートを徴収し、目的の達成度や有効性について調査することも考えていかなければならない
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	緊急時においては近隣者や民生委員等をあらかじめ登録していただき、初期相談の段階で協力をいただいているところであり、常日頃からの見守りにも貢献いただいています。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	独居高齢者および75歳以上高齢者世帯に対して全てに周知し、必要であればライフラインとして利用していただき、おもに災害時等に活用できるように検討していく。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当 部局 評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	
		相談業務や緊急時出動の件数が年々増加する傾向であるが、なんら問題なく独居等高齢者のライフラインとして活用することができた。
		今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
		緊急通報事業は地域による見守り等(あんしんシステムなど)のひとつのツールとして位置づけている事業であり、今後も地域との協働により充実を図る。また、地域や利用者から当該システムに対し、改良点等を聴取し今後の課題等を検討する。